



10人の社会保険労働士が、企業のさまざまな問題を解決している

挑む 2012



顧問企業は製造業からサービス業、医療関係までさまざま。各専門家が集結した事務所

一般的な社会保険労働士業務のほか、採用から解雇、人事・賃金、メンタルヘルスマスで、さまざまな労使トラブルを予防・解決しているのが「北海道賃金労務研究所」だ。

「経営者の駆け込み寺」 北海道賃金労務研究所

札幌市中央区南1条西12丁目新永ビル6階
☎011・271・1802
<http://www.roum-tingin.jp/>

相談案件は年々増加傾向で、2011年も10年に引き続き、年間延べ3000件を超えた。その要因を石田和彦代表は「顧問企業様からの信用がすべて。モットーである『我々は社会保険労働士である前に経営コンサルタントであれ。業績向上につながる提案をする』ことをコツコツおこなった結果です」と分析する。1つの事案を多方面からアプローチできる複数社労士体制も大きな武器だ。労使トラブルのほか、年金、助成金、行政対応など、それぞれのプロフェッショナルが10人在籍し、層の厚いサービスを提供している。

「どの業界にも共通しているのは、経営者は孤独だということ。やっと本音で相談できる相手を見つけたと言われることも多い」と経営者の相談相手が少ないことを危惧する。同社では、労使トラブルが今後増える予想し、トラブルが起きる前の対策を推奨。「経営者と社員の関係を把握した『診立て』による提案が鍵」と考え、机上論ではなく経験に基づいた独自の予防策を講じるほか、弁護士、行政書士とグループを形成。ワンストップで労使問題に挑む。



「顧問先の発展に貢献したい」と語る石田和彦代表